
一般社団法人 日本リスク学会 第33回シンポジウム
『リスク学から感染症問題を考える』

日時： 2020年6月26日（金）14:00－16:00（予定）

場所： オンライン開催（事前申し込み制）

※申し込み方法については後日ご案内します。

主催： 一般社団法人 日本リスク学会

参加費： 無料

開催趣旨：新型コロナウイルスの問題は、個人や家族というミクロな視点からも、学校や職場という集団の視点からも、国や地方自治体という政策という視点からも、あらためてリスクとの付き合い方という課題を私たちに突きつけました。このやっかいな感染症の問題に対してリスク学の知見がどのように生かされるのでしょうか。日本リスク学会では特設ページを設けて、様々な情報を発信してきましたが、もっといろいろやれることもあるかもしれません。本オンライン・シンポジウムでは、これまでコンテンツを提供してきた関係者を中心に話題提供し、参加者のみなさんからのご意見も募集しながら、リスク学にどのような貢献が期待されるか考えてみたいと思います。

プログラム（案）

14:00～14:10 久保英也（ワールド・マスタース・ゲームズ 2021 関西組織委員会、学会長）

学会としての取り組み

14:10～14:30 岸本充生（大阪大学、理事）

リスク学からどんな貢献ができるか

14:30～14:50 藤井健吉（花王安全性科学研究所、理事）

環境表面のウイルス除染ガイダンス

14:50～15:10 竹林由武（福島県立医科大学）

感染症流行時のメンタルヘルスの諸問題

15:10～15:30 竹田宜人（北海道大学、理事）

WHO のリスクコミュニケーション

15:30～15:55 いただいた質問や意見にもとづくディスカッション

15:55～16:00 まとめのあいさつ

※本シンポジウムに関する最新の情報は、学会 HP<<http://www.sra-japan.jp/cms/>>に掲載いたします。

お問い合わせ先：〒162-0801 東京都新宿区山吹町 358-5 アカデミーセンター

日本リスク学会事務局 担当:井奥

E-mail: sra-japan@bunken.co.jp Tel. 03-6824-9370 Fax. 03-5227-8631